

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	音楽のまちづくり推進事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
	根拠法令	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	学びの森天神山交流館費	
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
		アウツソーシング導入状況	アウツソーシング導入済(業務委託)				総合戦略との関連		関連あり(評価対象)
							集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児
	手段(活動指標)	「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	意図(成果指標)	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 事業数	件	52	13	29	14	48.3%	29	
	② 事業支援数	件	2	1	1	2	200.0%	1	
	成果	① 音楽事業参加者数	人	3,296	1,600	3,000	930	31.0%	3,000
		② 芸術文化に触れる機会が多くあると思う市民の割合	%	33.9	26.6	40.0	23.4	58.5%	40.0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,719,721	2,267,807	2,498,000	2,497,983	10.1%	2,498,000
	① 国庫支出金	円				0		
	② 県支出金	円				0		
	③ 地方債	円				0		
	④ その他(使用料、雑入等)	円	70,000	56,500	80,000	88,000	55.8%	760,000
人件費	⑤ 一般財源	円	2,649,721	2,211,307	2,418,000	2,409,983	9.0%	1,738,000
	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	460	460	300	460	0.0%	460
総費用	③ 人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	2,038,720	2,038,720	1,329,600	2,038,720	0.0%	2,038,720
	総費用(A+B)	円	4,758,441	4,306,527	3,827,600	4,536,703	5.3%	4,536,720

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。</p> <p>市民のためのクラシック講座「芝居と音楽」を10月31日に、第2回「朗読コンサート」を2月28日に開催した。「親子向けバイオリンコンサート」を7月24日、25日、「親子で楽しむ学びの森音楽会」を9月21日、22日、市民のための出前コンサートを3月14日に実施した。小中学生のための音楽推進事業として、小学校では、声楽家らによる歌唱指導や卒業式に向けての合唱指導、朗読と馬頭琴コンサートを開催した。</p> <p>○とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。</p>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		不要		
1 今後の方針	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
2 評価	① 目標達成度				3 低い・未実施		
	② 類似事業の有無				1 なし		
3 評価	③ 上位施策への貢献度				2 普通		
	① コスト効率				2 普通		
	② 実施主体の適正化				1 適正である		
4 評価	③ 負担割合の適正化				1 適正である		
	事業の進め方・内容について改善の余地あり						
<p>方針の説明等</p> <p>保育園、幼稚園から小学生に向けて、本格的な音楽に親しむ機会を作ることで、情操教育にも効果が上がってきている。今後は市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルスの感染予防のため、事業の内容の再検討が必要。</p>							

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール管理事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	新川文化ホール管理費					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	新川文化ホール費	
基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)			
根拠法令					総合戦略との関連	関連なし			
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)				集中プランとの関連	関連なし			

2 事業概要	事業概要	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。
	対象	市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 利用件数	件	2,882	2,534	3,000	1,665	55.5%	3,000
	② 利用料金	円	14,103,747	11,616,619	14,743,000	10,659,022	72.3%	14,743,000
成果	① 展示ホール利用率	%	67	52	70	47	67.1%	70
	② 和室・会議室利用率	%	24.8	26.0	30.0	16.6	55.3%	30.0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	90,719,000	74,423,000	77,727,000	74,749,666	0.4%	75,837,000
	① 国庫支出金	円				0		
	② 県支出金	円				0		
	③ 地方債	円	13,500,000			0		
	④ その他(使用料、雑入等)	円	198,640	175,801	936,000	127,497	-27.5%	936,000
	⑤ 一般財源	円	77,020,360	74,247,199	76,791,000	74,622,169	0.5%	74,901,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	540	540	540	580	7.4%	580
	③ 人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	2,393,280	2,393,280	2,393,280	2,570,560	7.4%	2,570,560
総費用(A+B)	円	93,112,280	76,816,280	80,120,280	77,320,226	0.7%	78,407,560	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。新型コロナウイルス感染症の影響による減収補填を想定したが、利用料金の値上げにより収入がおおくなったため返金となった。</p> <p>○魚津市民文化祭(10月24日、25日)、第60回記念魚津市美術展(10月31日~11月5日)を開催した。</p> <p>○利用料金の見直しを行った。</p>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		不要		
6 評価	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	① 目標達成度	2 目標どおり	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者としっかり連携しながら事業をすすめていかなければならない。	② 類似事業の有無	1 なし	
					③ 上位施策への貢献度	2 普通	
					① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	芸術文化振興事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			予算科目	款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費
		基本事業名	基本事業32-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連あり		

2 事業概要	事業概要	市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。	
	対象	①市民、②市内文化団体(文化協会、市美協)、③市内小中学生	
	手段(活動指標)	国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。	
	意図(成果指標)	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 国県等の補助事業開催数	件	9	3	5	1	20.0%	5
	② 中学校文化連盟事業	件	11	12	12	6	50.0%	12
	① 文化祭への参加人数	人	4,278	4,471	6,000	1,928	32.1%	2,500
	② 市美展出品数(一般、招待)	点	188	193	240	192	80.0%	240

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,249,516	2,345,366	925,000	814,000	-65.3%	867,000
	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	16,482	1,513,038	39,000	7,941	-99.5%	79,000
	⑤ 一般財源	円	1,233,034	832,328	886,000	806,059	-3.2%	788,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	600	600	600	600	0.0%	600
	③ 人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	2,659,200	2,659,200	2,659,200	2,659,200	0.0%	2,659,200
総	費用(A+B)	円	3,908,716	5,004,566	3,584,200	3,473,200	-30.6%	3,526,200

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○国県等の補助事業を利用した公演(文化芸術による子供の育成事業等)を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。</p> <p>○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。</p> <p>○第60回記念魚津市美術展では記念大賞作品を買い上げた。</p> <p>○大平山濤作品「夕焼け」の修繕を行った。</p> <p>○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。</p>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	A	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
1 次評価	結果(課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	① 目標達成度	3 低い・未実施	
	今後の方針			幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	② 類似事業の有無	1 なし	
2 次評価					③ 上位施策への貢献度	1 高い	
					① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	文化財保護団体育成事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財保護団体育成事業					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
	根拠法令	政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		文化財保護法	文化財保護法				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	指定無形民俗文化財の保存団体の実施する事業について、魚津市より補助金を交付し、文化財の保存・継承に必要な活動や魚津の歴史を研究する歴史同好会の活動について支援する。
	対象	指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。
	手段(活動指標)	各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。
	意図(成果指標)	保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 指定無形民俗文化財の維持(保存団体の数)	件	5	5	5	5	100.0%	5
	② 歴史調査研究団体の維持	件	1	1	1	1	100.0%	1
成果	① 保存・継承されている指定無形民俗文化財の数	件	5	5	5	5	100.0%	5
	② 活動支援支援した文化財保護団体及び歴史調査研究団体数	件	5	5	5	5	100.0%	5

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,942,780	1,579,421	1,876,000	280,000	-82.3%	1,821,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		1,500,000				
	⑤一般財源	円	1,942,780	79,421	1,876,000	280,000	252.6%	1,821,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	260	260	260	300	15.4%	260
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	1,152,320	1,152,320	1,152,320	1,329,600	15.4%	1,152,320
総費用(A+B)	円	3,095,100	2,731,741	3,028,320	1,609,600	-41.1%	2,973,320	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体: 布施谷節保存会、鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会)</li> <li>・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体: たてもん保存会)。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の為、たてもん祭り中止。</li> <li>・全国山・鉾・屋台保存連合会総会中止。</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
				②類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	③上位施策への貢献度	2 普通		
				①コスト効率	2 普通		
				②実施主体の適正化	1 適正である		
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	文化財保存団体も人口減少や高齢化の影響により、活動の維持が難しくなっている。文化財は、地域が主体となって守っていくべきだが、人と文化を育むまちとするためにも、今後も継続して補助することにより、地域と市が連携をとりながら、保護し、活用していく必要がある。	③負担割合の適正化	1 適正である	
					2 次評価	不要	

1 基本項目	事務事業名	遺跡調査事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	遺跡調査事業				係名	生涯学習・文化係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度		当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち			予算科目	款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令	文化財保護法				総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	開発対象区内にある埋蔵文化財包蔵地において、遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行う。埋蔵文化財包蔵地の範囲確認のための、分布調査を実施する。松倉城跡の詳細調査を実施する。
	対象	開発対象地区内にある埋蔵文化財包蔵地等。
	手段(活動指標)	埋蔵文化財包蔵地内で開発行為が行われる場合には試掘調査を実施する。また、市内の埋蔵文化財包蔵地の分布調査や松倉城跡の詳細調査を実施する。
	意図(成果指標)	試掘結果に基づき、開発予定地内における本発掘調査の有無について判断する。市内分布調査についてはその結果の報告書を刊行する。松倉城跡の調査については、調査結果を取りまとめ、松倉城跡詳細調査指導委員会で報告する。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 試掘調査実施件数	件	6	4	4	1	25.0%	4
	② 分布調査日数	日	0	6	7	0	0.0%	0
成果	① 試掘調査結果に基づく本発掘調査有無の判断件数	件	6	4	4	1	25.0%	4
	② 分布調査報告書の刊行	冊	0	1	1	0	0.0%	0

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	10,594,256	4,087,715	14,147,000	11,277,375	175.9%	5,603,000
	①国庫支出金	円	3,500,000	1,900,000	2,950,000	1,860,000	-2.1%	2,400,000
	②県支出金	円	4,871,200	950,000	1,200,000	930,000	-2.1%	1,200,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	1,036		1,000			1,000
人件費	⑤一般財源	円	2,222,020	1,237,715	9,996,000	8,487,375	585.7%	2,002,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,060	1,060	1,060	1,160	9.4%	1,060
総費用(A+B)	円	15,292,176	8,785,635	18,844,920	16,418,495	86.9%	10,300,920	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財包蔵地内における試掘調査を1件(魚津城跡)実施した。</li> <li>・石の門砦の測量調査を実施した。</li> <li>・松倉城跡の土地所有に関する地籍の調査を継続して実施した。</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である		
1 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	2 目標どおり	
	今後の方針			調査報告書によって学術的価値付けを行った松倉城跡について、今後、文化庁、富山県教育委員会に助言を得ながら国の指定史跡への取り組みに務めていく。	②類似事業の有無	1 なし	
2 次評価					③上位施策への貢献度	2 普通	
					①コスト効率	2 普通	
					②実施主体の適正化	1 適正である	
					③負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	文化財保存事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費	
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項	社会教育費	
		施策名	施策32. 文化の振興				目	文化費	
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令	文化財保護法				総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力、支援を行う。
	対象	市内の文化財
	手段(活動指標)	市内の文化財の保存・活用のために整備を行うと共に、伝統的な祭りの継承に努める。
	意図(成果指標)	市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	2	3	3	2	66.7%	3
	②							
成果	① 郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かであるとする市民の割合	%	67.0	49.5	70.0	53.5	76.4%	70.0
	② たてもん協力隊参加者数	人	357	301	300	0	0.0%	300

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	3,941,513	5,677,844	39,342,000	37,635,460	562.8%	4,977,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円		2,144,000				
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		1,600,000	37,490,000	35,000,000	2087.5%	1,451,000
	⑤一般財源	円	3,941,513	1,933,844	1,852,000	2,635,460	36.3%	3,526,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	1,240	1,240	1,260	1,140	-8.1%	1,140
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	5,495,680	5,495,680	5,584,320	5,052,480	-8.1%	5,052,480
総費用(A+B)	円	9,437,193	11,173,524	44,926,320	42,687,940	282.0%	10,029,480	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の為、たてもん祭りが中止。</li> <li>魚津の登録文化財ツアー開催。</li> <li>松倉城跡探訪ツアー開催。</li> <li>『魚津の文化財』改訂、登録文化財パンフレット作成。</li> <li>新たに登録文化財となった東山円筒分水槽と魚津浦の蜃気楼(御旅屋跡)の解説板を作成。</li> </ul>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		不要		
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	②目的の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	
2 次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	2 目標どおり	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	指定文化財や今後保存すべき文化遺産に対して、現状把握と保存・整備・活用についてその地域と連携し、進めていく必要がある。また、ユネスコ無形文化遺産に登録の「魚津のタテモン行事」は、国を代表する祭りの1つとして、その保存と継承に努める責任があり、保存団体と市民、行政が一体となり、安定的運行と後継者育成、PRに努めていく。	②類似事業の有無	1 なし	
					③上位施策への貢献度	2 普通	
					①コスト効率	2 普通	
					②実施主体の適正化	1 適正である	
					③負担割合の適正化	1 適正である	

1 基本項目	事務事業名	たてもんと全国植樹祭レガシー事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続		会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策11. 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	社会教育費
		施策名	施策32. 文化の振興					目	文化費
		基本事業名	基本事業32-2. 地域の歴史や文化の保存・継承					総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	◆「たてもんの森」プロジェクト事業：平成29年度から3か年計画で地元産の木材でたてもんを製作することを目指して植樹し、「たてもんの森」を整備。 ◆後継者育成事業：祭りを支える伝統技術を伝承していくための後継者の育成経費を支援。 ◆運営支援事業：祭りの恒常的開催のため運営経費を支援。
	対象	魚津市在住の小学生～大人
	手段(活動指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進
	意図(成果指標)	ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① たてもんの森植樹祭参加者数 (R1事業完了)	人	83	89	0	0		0	
	② たてもんの森に関わる事業の参加者数	人	83	89	40	0	0.0%	20	
	成果	① 郷土の歴史や伝統が継承され、自然に育まれた文化が豊かである、と思う市民の割合	%	67.0	49.5	70.0	53.5	76.4%	70.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,450,157	2,612,464	3,469,000	528,550	-79.8%	2,609,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		1,400,000	2,490,000			1,451,000
	⑤一般財源	円	2,450,157	1,212,464	979,000	528,550	-56.4%	1,158,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	800	800	400	800	0.0%	800
	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	3,545,600	3,545,600	1,772,800	3,545,600	0.0%	3,545,600
総費用(A+B)	円	5,995,757	6,158,064	5,241,800	4,074,150	-33.8%	6,154,600	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	・コロナウイルス感染拡大予防のため、魚津祭りが中止となり、引手ボランティアの募集は行わなかった。 ・たてもん祭り中止のため、保存団体への運営支援は行わなかった。 ・「たてもんの森」の草刈りイベントを計画していたが、コロナウイルスの影響で計画中止とした。	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目	
	結果(課長総括)	A	B		不要	判定
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	②目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である
2 次評価	結果(課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①目標達成度	3 低い・未実施
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	・植樹イベント参加者の増と植樹会場の計画的な整備などを長期的視野に立って考え、実施していく必要がある。 ・植樹イベント以外に森に関わる人やたてもん祭り当日以外にもたてもんに関わる仕組みづくりのため、試行的な取り組みを実施。	②類似事業の有無	1 なし
					③上位施策への貢献度	1 高い
					①コスト効率	2 普通
					②実施主体の適正化	1 適正である
					③負担割合の適正化	1 適正である